

# コロナ禍における 乳幼児健診の中で 保健師として大切にしたこと

R 4 年度「全国保健師長研修会」

R 4 年 1 1 月 2 5 (金)

大津市役所 保健師 永田景子

# 本日のお話のながれ

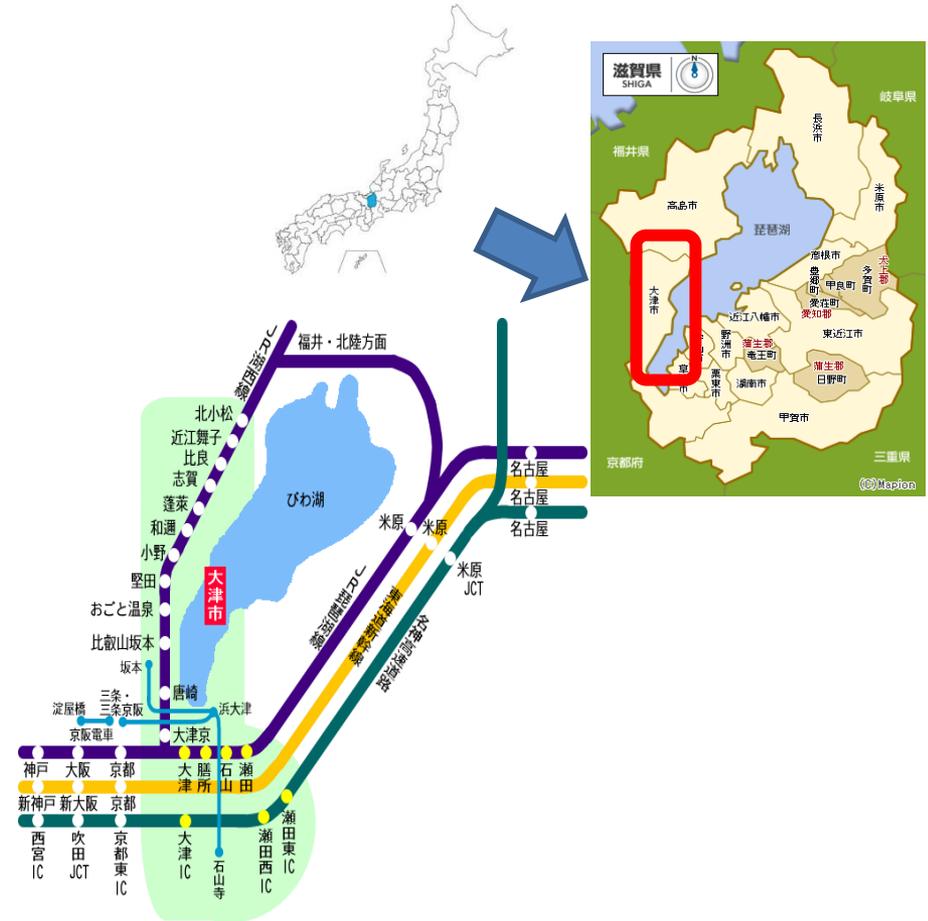
1. 大津市の概況
2. 緊急事態宣言下の取り組み
3. 健診再開までの協議
4. 保健師として大切にしたこと
5. まとめ

# 1 - 1 大津市概況

- 滋賀県庁の所在地であり、琵琶湖  
国定公園の西南端

[R4年4月1日現在]

- 人口 343,817 人
- 世帯数 154,306 世帯
- 高齢化率 27.2 %
- 出生数 2,431 人
- 行政区域(小学校区) 37



# 1 - 2 大津市概況

## すこやか相談所の配置

比叡すこやか相談所



膳所すこやか相談所

南すこやか相談所



## 大津市の健診・相談会等

1か月児健診(出産病院で実施)

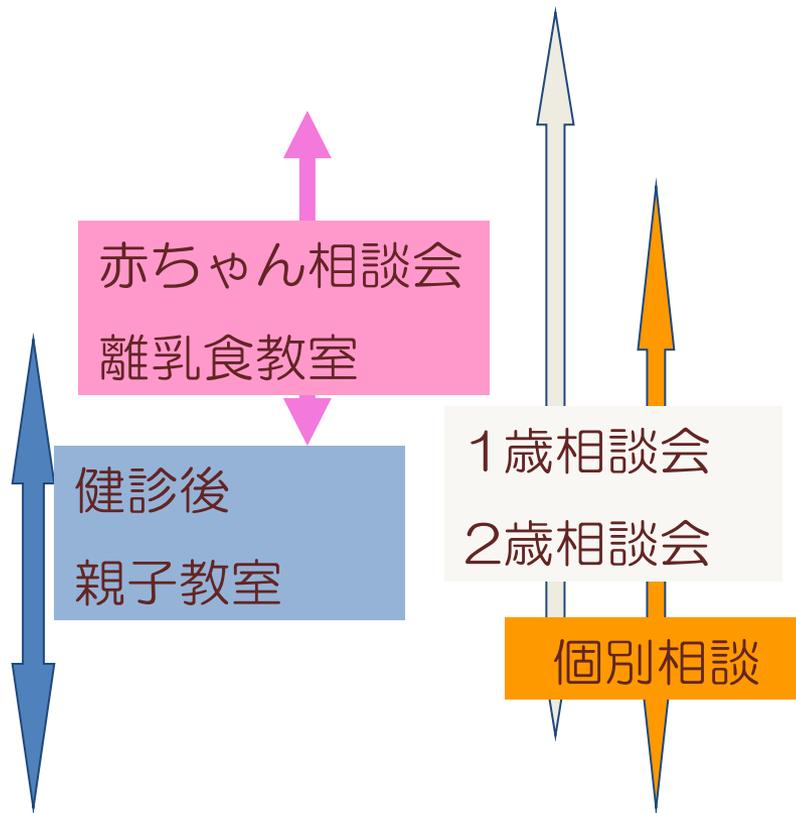
4か月児健診\*  
医療機関委託  
観察はがき(6か月)

10か月児健診  
観察はがき(12か月)

1歳9か月児健診

2歳6か月児健診

3歳6か月児健診



## 2 -1 緊急事態宣言下の取り組み

- ① 健診毎のフォロー見への個別対応
- ② 健診項目の状況把握「おたずねハガキ」の発送と事後フォロー
- ③ 個別相談会の拡充
- ④ 健診で伝えている情報を動画配信
- ⑤ その他 広報おおつや、ホームページからの情報提供等

# 2-2 緊急事態宣言下の取り組み

## 「おたずねハガキ」と動画作成

記入者：父・母・その他（ ） 記入日： 月 日

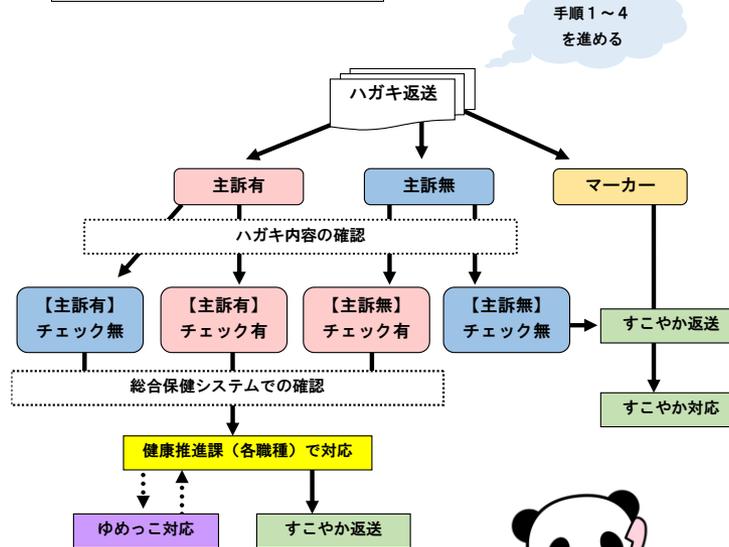
### 10か月児 おたずね票

相談したいこと、気になることはありますか

1. 体重（ . kg） 計測日： 月 日
2. 手を使わずにしっかりと座る（ か月）
3. はう、おなかをつけて（ か月）／つけないで（ か月）
4. うつぶせからお座り、お座りからうつぶせになる（ か月）
5. 小さい音に振り向く（紙を破るなど）（はい・いいえ）
6. 最近どんな声をだしていますか（ ）
7. おもちゃを振ってみせると同じようにまねる（ か月）・しない（はい・いいえ）  
ほめると喜んで繰り返す（はい・いいえ）
8. 人見知り：する（ か月）・しない／あとい：する（ か月）・しない
9. 目や耳についての心配（ない・ある：具体的に（ ））
10. 離乳食について
  - ① 回数（回/1日）ミルク（ cc 回）、母乳（回）
  - ② たんぱく質は食べていますか ※○をつけて下さい（卵・鶏肉・牛肉・マグロ・さけ・その他：（ ））
  - ③ 味付けはしていますか（油・みそ・しょうゆ）
  - ④ 芋などはどのような形で調理していますか（ペースト・つぶし・きざみ・ココロコ）
11. 生活リズム（眠っている時間を塗りつけて下さい）
 

0	6	12	18	24
12. 育児をしていてイライラしたり、つらいと感じることが多い（はいえ・どちらとも言えない・はい）  
※「はい」の人は具体的に（ ）
13. 育児や悩みの相談相手はいますか（はい・いいえ）

### おたずね票ハガキ フォローの流れ



### 動画で紹介！

### おうちでできる健康づくりと 過ごし方のヒント

本日は、10か月児健診を受診していただきありがとうございます。これからお子さんは、こはが広がり、歩くことを見え、こころもからでも大きく成長していく時期です。そこで日々、子育てをがんばっておられる皆さんへ少しでも役に立つヒントをお伝えできればと思い、大津市オリジナル動画を制作しました。ぜひご覧ください！

**からだの成長を確認！**

**おすすめのふれあい遊びを紹介！**

【その1】

【その2】

**こころの発達を知ろう！**

【その1】

【その2】

**離乳食の進め方はこちら！**

**歯みがきのポイントを知ろう！**

**1歳になったら受ける予防接種**

**気をつけよう！事故予防**

【問合せ】大津市保健所健康推進課 ☎ 528-274

# 3-1 健診再開までの協議

## 健診の役割と意義の確認

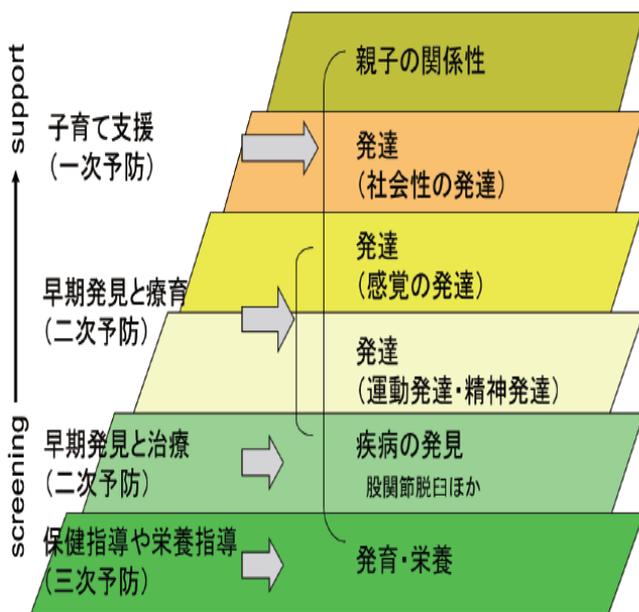


図1-2 乳幼児健診の主要課題の重層性



図1.3 乳幼児健診に求められる意義と機能

# 3<sub>-2</sub> 健診再開までの協議

## 法定外健診の検討（10か月）

- ① はじめての集団健診である 多職種との出会いの場
- ② 幼児期に向かう力の芽生えの時期  
丁寧な育児への助言を伝える時期
- ③ 発達障害（知的障害含む）等につながる兆候をいち早く把握  
子どもへの適切な支援により、対人関係の障害への発展を  
予防することで、育児困難を軽減できる

→〔結論〕休止も委託も出来ない

# 3 - 3 健診再開までの協議

## 2歳6か月児健診の一部(歯科健診)を個別健診とした場合を想定して検討

	個別健診	集団健診
受診率	▼低くなる *むし歯罹患率上がる	○高い
市民にとって	○都合に合わせて近くで受診しやすい	○同月齢の児を持つ保護者が集まり、待ち時間に他の保護者と交流や情報交換ができる、他児と比較してわが子の状況や育児上の問題をみることができる
	▼歯科保健指導のあり方に差異が生じ、質が低下。 *むし歯罹患率上がる	○多職種の専門職がいることで気軽に相談でき、様々な角度から支援を得られる。
	▼虐待や気になる親子、発達支援の必要な子などの発見や対応がもれる、遅れる	▼平日開催・予約制が受診のしにくさになる
	▼発達相談等は別枠での相談が必要になり手間がかかる	
実施側にとって	▼委託医療機関との連携がうまくとれない、連絡に時間がかかる	○発達支援が必要な親子を早期に療育等の支援につなげることができる。
	▼別日で相談会を開催するため学区担当保健師・発達相談員の増員が必要になる	○虐待や保護者支援が必要な場合に早期に対応・連携し公的サービスにつなぐことができる。
	▼歯科医師会の協力が得られにくい	○未受診者の把握や対応がスムーズに行える。
	▼母子保健(子育て支援)のサービスが届きにくい	

# 3 -4 健診再開までの協議

## 2歳6か月児健診の一部(歯科健診)を個別健診とした場合の影響

- 1歳9か月児健診継続群のフォローとして、新たな個別相談が必要となる。その業務量を試算すると、健診出勤と大差がなく、事前の電話かけ等の稼働を含むとむしろ増えた。
- 中核市調査から、委託を実施している市町に個別に問い合わせた結果、1歳6か月児健診後のフォローにかかる稼働が課題であった。
- 要発達支援児の健診経過を振り返ると、就学申し送りを実施した318名中(H30年度実績)2歳6か月児健診から本格的なフォローが実施された子どもは49名。そのうち、療育や発達支援療育、発達支援ひろばにつながった子どもは26名。早期に支援を受けられなかった可能性がある。

# 3 -5 健診再開までの協議

## 結論：2歳6か月児健診は継続

- 「子育て支援」 \*イヤイヤ期の関わり方支援が一番求められる
  - 「虐待予防」 \*やりにくさを抱えた子どもにこそ、寄り添いの支援
  - 「むし歯予防」 \*歯科衛生士からの丁寧な歯のお話はニーズが高い
  - 「発達障害・要発達支援児の早期発見」
- のためにも今後充実すべき健診

# 3 -6 健診再開までの協議

## 集団健診再開のための対策

- ① 対象となる市民には個別ハガキで案内。さらに広報おおつ、メール配信、ホームページ、子育てアプリ、保育園や幼稚園にはポスター掲示を行い周知。
- ② 年間開催回数を28回分増加。1回あたりの受け入れ人数を制限するため、出勤保健師定数を減らし、年間稼働を調整。
- ③ 5年先を見越し、適切な時期にすべての子どもが受診できる体制であるかを検証し健診プログラムを立案
- ④ 感染対策の徹底（入場制限、10人程度の完全入替、健康チェック導入、消毒の徹底、換気、眼鏡、フェイスシールド導入等）

## 4 -1 保健師として大切にしたこと

### 子どもへの質の高いサービスへのこだわり

- それぞれの職種が、各健診における役割と意義を明確に出し合う中で、各健診のもつ意義を再確認
- 委託や休止ではなく、すべての健診をすべての対象者に案内すべき
- 一番中心に考えたのは、子どもへの質の高いサービス提供
- 出来るだけ多くの保護者が、負担なく支援を受けやすい体制に
- 主訴のある保護者や、継続管理ケースだけを個別相談で対応することが非効率 時として拒否に繋がる

## 4 -2 保健師として大切にしたこと

### 事業の本質を捉えた事業立案

- 「疾病スクリーニング」と「保健指導・支援」がいつまでに、どうあるべきかを考えながらの事業再構築
- コロナ禍であるからこそ、生み出したサービス
- 多職種であるからこそ実現

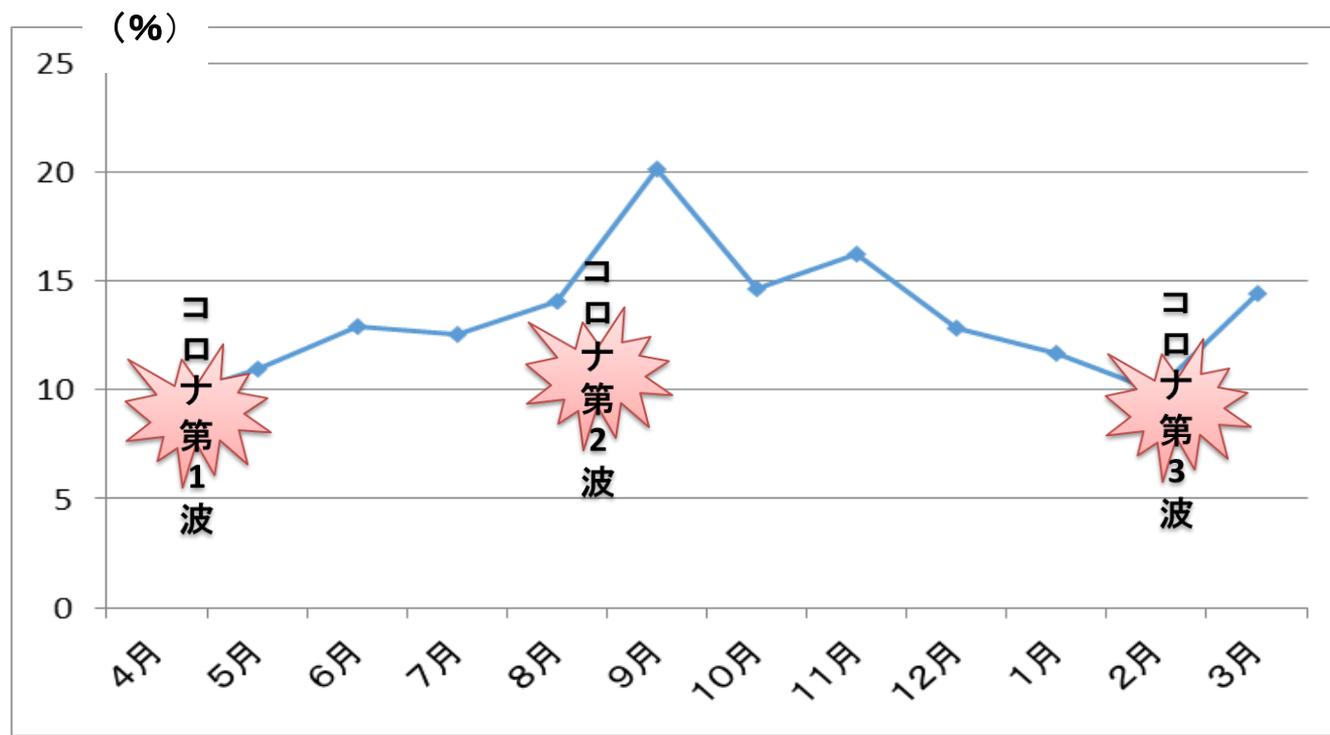
# 5<sub>-1</sub> まとめ

- 社会が不安定なとき、子育てをしている保護者の不安や緊張は高まる。まずは、気持ちが出できる機会の提供。
- 集団健診で保護者に出会えることが大切
- 多職種のスタッフがワンストップサービス提供ができる集団健診は、受診者に負担かけず多くのサービスが提供できる手段
- 虐待予防の観点からも有効

# 5 -2 まとめ

参考：この1ヶ月でイライラや落ち込みがあった方の割合の推移

(2020年度月別 4か月児健診結果より)



新型コロナウイルス感染が拡大した後に、イライラや落ち込みを感じる保護者が増加。

# 5 -3 まとめ

- 健康危機管理対応として迅速に柔軟な事業の再構築
- 事業の特殊性が理解できるのは保健師
- 企画をまとめ、組織合意を図る際には、管理職ポジションに保健師がいることが有効
- 事業立案の考え方の基盤は地域ケアシステム

ご静聴ありがとうございました